

イオン北海道株式会社・マックスバリュ北海道株式会社

AEON

イオン北海道株式会社

MaxValu

マックスバリュ北海道

- ・地域とともに環境行動を実践するまちづくり
- ・災害に強い、安全・安心なまちづくり
- ・ボランティアなど市民の主体的な活動を応援するまちづくり
- ・障がい者の自立支援を通じた、ぬくもりあふれる共生のまちづくり
- ・文化芸術やスポーツの振興を通じた創造性を育むまちづくり
- ・その他両者の協議により決定した事項

2020年3月、イオン北海道株式会社とマックスバリュ北海道株式会社は経営統合し、新生「イオン北海道」が誕生します。イオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、お客さま一人ひとりの夢のある未来の実現に向け、事業の成長と地域社会の発展を両立させるサステナブル経営を実践しています。両社はこの基本理念のもと、さらなる連携を図り経営資源やノウハウの共有化をすすめシナジーの極大化を図ることで、これまで以上に北海道に貢献し、北海道でNo.1の信頼される企業を目指してまいります。

両社はさっぽろ連携中枢都市圏の12市町村に「イオン」、「イオンスーパーセンター」、「マックスバリュ」、「ザ・ビッグ」等101店舗を展開しております。

これまで以上にさっぽろ圏12市町村との連携を深め、地域の活性化や市民の皆さまへの新しいサービスの創出に連携して取り組んでまいります。



さっぽろ
連携中枢都市圏



AEON

イオン北海道株式会社

MaxValu

マックスバリュ北海道

札幌市では、人口減少・少子高齢社会にあっても、圏域内の活力を維持し、魅力あるまちづくりを進めるため、関係11市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町及び長沼町）とともに、「さっぽろ連携中枢都市圏」を形成しました。

さっぽろ圏域は、構成市町村がそれぞれの特徴を活かしながら、密接な連携と役割分担の下で、住民生活や圏域経済に資する取組を行うことにより、住みたくなくなる人が多くなる、投資したくなる会社が増えていく、さまざまな面で「選ばれる」圏域を目指していきます。

【札幌市 HP】 <http://www.city.sapporo.jp/kikaku/renkeichusu/renkeichusu.html>